



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ブリヂストン

上場取引所 東名福

コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO 兼 取締役会長

(氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長

(氏名) 中村 賢史

TEL 03-6836-3100

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

平成26年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,750,259	2.6	223,152	17.2	219,963	18.9	142,243	21.5
25年12月期第2四半期	1,705,190	14.5	190,399	42.3	184,967	43.4	117,041	55.5

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 76,663百万円 (△69.2%) 25年12月期第2四半期 248,524百万円 (156.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	181.64	181.43
25年12月期第2四半期	149.52	149.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,416,759	1,915,198	54.3
25年12月期	3,577,045	1,862,963	50.5

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,855,784百万円 25年12月期 1,805,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	27.00	—	30.00	57.00
26年12月期	—	40.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650,000	2.3	475,000	8.4	454,000	4.4	293,000	45.0	374.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	813,102,321 株	25年12月期	813,102,321 株
26年12月期2Q	29,969,911 株	25年12月期	30,115,568 株
26年12月期2Q	783,090,292 株	25年12月期2Q	782,788,507 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想については、平成26年2月18日に発表した予想を修正しております。当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。なお、詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

## ① 業績全般

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	17,502	17,051	+450	+3
営業利益	2,231	1,903	+327	+17
経常利益	2,199	1,849	+349	+19
四半期純利益	1,422	1,170	+252	+22

当第2四半期連結累計期間(2014年1月1日から2014年6月30日)の当社グループを取り巻く環境は、為替は円高の是正が定着する中、国内においては、景気は経済・金融政策の効果などを背景に、消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動があったものの、緩やかな回復傾向が見られました。海外においては、景気は全体として弱い回復が続いており、米国では個人消費の増加などにより緩やかな回復が続き、欧州においては持ち直しの動きが見られました。また、アジアでは、中国やインドにおいて景気の拡大テンポの鈍化が続き、タイにおいては経済の停滞が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「真のグローバル企業」、「業界において全てに『断トツ』」の達成に向け、市場の需要動向や競合の動向を「先読み」し、技術優位性の強化やイノベーションの促進を通して、グローバルで高い競争力を持つ商品・サービスの拡販、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、供給能力の増強、生産性の向上、経営資源の効率的活用、そして環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は17,502億円(前年同期比3%増)となり、営業利益は2,231億円(前年同期比17%増)、経常利益は2,199億円(前年同期比19%増)、四半期純利益は1,422億円(前年同期比22%増)となりました。

## ② セグメント別業績

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	14,692	14,477	+214	+1
	営業利益	2,020	1,732	+288	+17
多角化部門	売上高	2,888	2,644	+243	+9
	営業利益	210	171	+38	+23
連結合計	売上高	17,502	17,051	+450	+3
	営業利益	2,231	1,903	+327	+17

タイヤ部門では、グローバルにおいて魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要などにより、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に上回りました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り順調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り堅調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り順調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を下回りました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に上回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は、鉱山車両用の需要減少などの影響により前年同期を下回りました。

この結果、売上高は14,692億円(前年同期比1%増)となり、営業利益は2,020億円(前年同期比17%増)となりました。

また、多角化部門では、売上高は2,888億円(前年同期比9%増)となり、営業利益はBSAM多角化及び国内事業における利益増加の影響により210億円(前年同期比23%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、商品及び製品が292億円増加したものの、受取手形及び売掛金が565億円、有価証券が501億円、投資有価証券が439億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,602億円減少し、34,167億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、短期借入金が99億円増加したものの、米国独占禁止法関連引当金が447億円、未払金が462億円、長期借入金が434億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,125億円減少し、15,015億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより234億円、その他有価証券評価差額金が323億円、為替換算調整勘定が428億円、それぞれ減少したものの、四半期純利益の計上により1,422億円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ522億円増加し、19,151億円となりました。その結果、自己資本比率は54.3%となり、前連結会計年度末に比べ3.8ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ①前期実績との比較

当期の当社グループを取り巻く環境は、為替や原材料・素材価格の変動、不透明な世界経済や不安定な国際政治情勢により、引き続き注意深く対応していく必要があるものと認識しております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に沿った施策を確実に実行することにより、以下の全体業績を見込んでおります。

## [連結業績予想]

## 当期の連結業績予想

		当期予想 (自 2014年1月1日 至 2014年12月31日)	前期実績 (自 2013年1月1日 至 2013年12月31日)	増減	
				金額	比率
		億円	億円	億円	%
売上高		36,500	35,680	+819	+2
営業利益		4,750	4,381	+368	+8
経常利益		4,540	4,347	+192	+4
当期純利益		2,930	2,020	+909	+45
為替レート	1米ドル 当たり	101円	98円	—	+3
	1ユーロ 当たり	138円	130円		+6

## ②前回予想からの修正

当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益については、原材料・素材価格が想定を下回り推移したことや費用の抑制などにより前回予想を上回りました。併せて、2014年5月9日の第1四半期決算発表時点では見直しを行っていなかった下期業績予想の見直しを行い、通期業績予想について修正いたしました。

## ・業績予想に関する注意事項

当資料の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	286,558	281,727
受取手形及び売掛金	528,465	471,897
有価証券	152,161	102,025
商品及び製品	354,370	383,651
仕掛品	37,353	37,530
原材料及び貯蔵品	165,379	151,210
その他	204,965	189,605
貸倒引当金	△11,871	△11,353
流動資産合計	1,717,383	1,606,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	414,442	432,829
機械装置及び運搬具(純額)	454,423	450,866
その他(純額)	466,193	442,059
有形固定資産合計	1,335,060	1,325,755
無形固定資産	46,826	62,425
投資その他の資産		
投資有価証券	320,954	277,043
その他	162,399	150,764
貸倒引当金	△5,578	△5,524
投資その他の資産合計	477,774	422,283
固定資産合計	1,859,661	1,810,464
資産合計	3,577,045	3,416,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	188,693	184,513
短期借入金	216,660	226,643
1年内償還予定の社債	63,794	60,000
リース債務	1,093	1,000
未払法人税等	54,571	48,906
米国独占禁止法関連引当金	44,790	—
リコール関連引当金	21,132	16,033
国内生産体制再編引当金	8,582	3,598
未払金	170,235	123,994
その他	289,731	262,263
流動負債合計	1,059,285	926,953
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	221,384	177,914
リース債務	11,342	10,651
退職給付引当金	236,747	211,011
その他	135,321	125,029
固定負債合計	654,795	574,608
負債合計	1,714,081	1,501,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,865	123,004
利益剰余金	1,597,140	1,715,893
自己株式	△56,644	△56,372
株主資本合計	1,789,714	1,908,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,703	168,334
繰延ヘッジ損益	△1,092	△1,235
為替換算調整勘定	△86,177	△129,039
在外会社の退職給付債務等調整額	△97,863	△91,155
その他の包括利益累計額合計	15,570	△53,095
新株予約権	1,621	1,948
少数株主持分	56,057	57,465
純資産合計	1,862,963	1,915,198
負債純資産合計	3,577,045	3,416,759

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
売上高	1,705,190	1,750,259
売上原価	1,101,491	1,088,588
売上総利益	603,699	661,671
販売費及び一般管理費		
販売運賃	72,071	72,977
広告宣伝費及び販売促進費	53,761	59,937
給料手当及び賞与	109,523	115,241
退職給付費用	9,713	9,587
減価償却費	13,319	13,910
研究開発費	43,421	44,503
その他	111,488	122,360
販売費及び一般管理費合計	413,299	438,518
営業利益	190,399	223,152
営業外収益		
受取利息	2,583	2,484
受取配当金	5,487	6,246
雑収入	9,419	10,919
営業外収益合計	17,489	19,649
営業外費用		
支払利息	7,648	7,396
為替差損	6,877	6,470
雑損失	8,396	8,970
営業外費用合計	22,921	22,838
経常利益	184,967	219,963
特別利益		
固定資産売却益	3,073	5,210
投資有価証券売却益	—	3,316
特別利益合計	3,073	8,527
税金等調整前四半期純利益	188,040	228,491
法人税等	64,544	81,844
少数株主損益調整前四半期純利益	123,496	146,646
少数株主利益	6,455	4,403
四半期純利益	117,041	142,243

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	123,496	146,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,253	△32,369
繰延ヘッジ損益	635	650
為替換算調整勘定	94,583	△43,616
在外会社の退職給付債務等調整額	△12,984	6,750
持分法適用会社に対する持分相当額	540	△1,399
その他の包括利益合計	125,028	△69,983
四半期包括利益	248,524	76,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,252	73,577
少数株主に係る四半期包括利益	11,272	3,085

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)

(単位:百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,446,231	258,959	1,705,190	—	1,705,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,484	5,511	6,996	△6,996	—
計	1,447,716	264,470	1,712,186	△6,996	1,705,190
セグメント利益(営業利益)	173,212	17,168	190,381	18	190,399

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第2四半期連結累計期間(自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,467,468	282,791	1,750,259	—	1,750,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,732	6,062	7,795	△7,795	—
計	1,469,201	288,853	1,758,054	△7,795	1,750,259
セグメント利益(営業利益)	202,088	21,060	223,148	4	223,152

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。